学校だより

生徒諸個人を生かす営み

岩室中学校

。昭四七年　新教育課程実施

生徒数　一年一四九（四）二年一三〇（三）三年一六一（四）四四〇名（一一学級）

生徒像

。ゆたかな生活を求め読書や芸術を好む

。問題の探究心が高まり知的学習がもりあがる

。整備と清潔が身につくよう

これは岩中としての学校経営の年次構想の一端である。統合岩中として発足して既に八年、昭四八年には十周年を迎える。この間、生徒ひとりひとりが誇りをもって実績を積みあげてきた。

中学校では多数の生徒がいろいろな活動をしている生徒個々の学校生活が充実して、青年前期の情熱を集中して、何かをやりぬくということは、彼等の人生に大きな力量と意味を附加することになる。人間は何かをすることに応じて伸びていく。読むことによって読む力が、考えることによって考える力が、走ることによって走る力が伸び育つのは人間発達の原則であろう。

現実の生徒ひとりひとりは、何かを感じ考えて学校生活をやっている。現に在る力量、現にもっている感じや考えから、現にない高次の段階へ高めることが教育のねらいであろう。生徒ひとりひとり最大多数の最大限伸長をはかるために、学習指導と生徒指導をきめ細かく配慮して充実していかなければならない。そのため生徒個々の実態を正しくとらえて、その実態を克服する営みとして教育実践を着実にすすめていきたい。

参考までに、ある学級のなやみの実態を例示してみよう。

①作文～友人が欲しい～

小学校の頃は、親友がなくても別に淋しくなかったし、気にもかけなかった。中学生になり日がたつにつれて自分のことを親身になって相手になってくれる人はないかといろいろ人とつきあってみたが、結果はかえって淋しいことになってしまった。そのうちに自分がいやになってきた。自分なりに反省してみたが、うまくいかない。私は一人で何も手につかないことが多くなった。孤独の気持でさびしい毎日である。

②性についてどう思うかという問にたいして

。いやらしい～2名

。大切なもの～28

。きたない、不潔～0

。わからない～13

③どんなことになやんでいるかという問にたいして

。勉強のおくれ

男2人女0人計2人

。学習のしかた　8　1　9

。進学のこと　6　4　10

。成績　3　6　9

△からだ　0　1　1

△友人　2　1　3

△性格　1　0　1

△その他　0　4　4

いろいろなことが、なやみ～不安～不満～欲求不満となって彼等の内部にもぐっている。これらは両親、教師、生徒同志の話し合いとか、作文などによって、吐きだすことでいくらか気持がおさまるかも知れない。ひとりのなやみをみんなの問題として、みんなで知恵をだし合う学級の話し合いは有効な働らきを発揮するであろう。

昭和四七年度は次のことを重点目標として学校経営を進めることにしている。

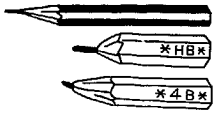
①発表や話し合いを活発にして学習する生徒

②体力、気力の充実をめざして、積極的に体育する生徒

③自分の役割と責任を果そうと行動する生徒

◎心に緑と太陽をもち飛躍する生徒

人間尊重とか人間性恢復の教育が強調されている。〝よしやろう。これをやるんだ〟という知的情熱の焦点をもたせることが大事である。人間の創りだした科学とその方法、芸術やその方法などを学びとる教育指導の課程で、生徒の内部にほんとうに生きて働らく力量が育てられることを期待して緑と太陽につつまれる躍動する学校づくりを進めて、十周年を迎えたいものである。



「学校だより」の掲載について

教育委員会

今月号から向う一ケ年間にわたって「学校だより」のコーナーを設けることになりました。

村内の四つの小・中学校の記事が順々に登場して様々な校内事情の紹介や特殊のニュース等を掲載して村民の皆さまから各々の学校に対する理解や認識を一層深めていただくのがそのねらいです。どうぞ御声援を願います。

なお一ケ年間連載された「衣・食・住」は三月号で一応おわりとしました。毎号資料の執筆を頂いた関係者の方々に紙上をかりて厚くお礼を申上げます。皆さまの御愛読や深謝します。

おめでた　おくやみ　3月19日まで

婚姻の部

氏名	前住所	新住所
岡島（小林）ひろ子　仁	高西川町畑	高畑和納6
古沢（大岩）静江　秀夫	和納原7	和納9
小林（山岸）富子　伸一	和納彦村6	和納6

出生の部

氏名	生年月日	保護者	部落
青柳智幸	2・12	道夫	和納1
佐藤三千代	2・13	宏	和納1
松本忠奉	2・14	英樹	新谷
秋山幸代	2・23	稔	間2
鈴木美砂子	3・1	昭	西中
長谷川力	3・1	進	和納9
高橋貴則	3・5	則義	岩室
伊藤直美	3・8	進	和納1
伊藤和美	3・8	義美	和納7

死亡の部

氏名	年令	死亡月日	世帯主	部落
鷲沢レイ子	50	2・18	川崎清吉	和納9
海津弥四郎	60	2・23	一也	和納3
鈴木キチ	88	2・24	真幸	石瀬
遠藤キチ	83	2・25	千代松	夏井
山岸ソヤ	80	2・26	仁作	夏井
後藤忠七	76	2・28	省三	岩室
後藤スエ	86	3・2	教蔵	岩室
田中トサ	80	3・7	芳男	和納5
武田耕治郎	65	3・7	ミヨ	津雲田
大森フミ	72	3・12	康司	西船越
後藤清	68	3・10	康一	猿ケ瀬
小林福市	70	3・14	新一	猿ケ瀬